

生徒会新聞

7月14日
号外

野球部特集号

7月12日火曜日、10時53分からその試合は始まった。

対戦相手は県立市ヶ尾高校。

この日の試合は初回からランナーを三塁に進めるなど得点のチャンスがあった。

見どころは5回裏、守備が光った。

1アウト、ランナー一塁というシーンでショートゴロが転がる。これをうまく処理したショートがすぐさまセカンドへ送球し一塁ランナーをアウトに、そのまま流れる動作でセカンドが一塁に送球しバッターランナーもアウトに。非常に興奮したシーンだった。またピンチの時にはキヤッチャーの高橋君をはじめ内野手がピッチャーの元にかげよったりというシーンも印象に残った。

試合が動いたのは八回裏、市ヶ尾の攻撃。

市ヶ尾はこの回一番からの好打順だった。まずは一番バッターをショートフライに仕留め1アウト。続く二番が内野安打で出塁し、次の三番の時に盗塁を成功させる。

三番はそのままレフトフライに抑え2アウト2塁に。こういう場面はこの試合何度も見たが違ったのはここからだった。



→【迫力のある小松君の投球】

この場面で市ヶ尾の打順は四番。ライト方面に打たれこの隙に二塁ランナーがホームに戻り市ヶ尾に先制点許してしまう。更に五番がセンター前にヒットを打ち、2アウト、一・二塁となおも得点圏にランナーが。その後六番、七番、八番を連続四死球にしてしまい、二点の追加点を許してしまう。ここで東高はピッチャーを小松君から久光君に交代、次の九番をセンターフライに抑えこの回を終える。

九回表、厚木東の攻撃は二人の代打を含めるも力及ばずに終わった。

2時間12分の激闘の末、最終的に厚木東のヒット数は3、市ヶ尾は4とどちらが勝ってもおかしくはない緊迫しい試合だった。野球部の皆さん、吹奏楽部・バトン部の皆さん、本当にお疲れ様でした！

←【試合終了後の厚木東ナイン】





←【初回ヒットを放った先頭今野君】



←【八回裏から登板した久光君】



←【一塁へ送球する捕手高橋君】



←【定常先生から指示を受けるメンバー】



←【ボールを見極める打者】



←【試合後全員でのミーティング】



←【互いを励ますメンバー】

皆さん本当にお疲れ様でした！